

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

収益的収支に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入の予算執行状況

収入

(単位:千円・%)

区分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減	執行率
水道事業収益	4,919,786	5,115,768	195,982	104.0
営業収益	4,629,850	4,763,766	133,916	102.9
営業外収益	289,448	289,358	△ 90	100.0
特別利益	488	62,644	62,156	12,836.9

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 432,841 千円を含む。

営業収益の内訳は、給水収益（水道料金）47 億 797 万 4 千円及びその他営業収益 5,579 万 2 千円となっている。営業外収益には、長期前受金戻入^(注) 2 億 6,809 万 7 千円が計上されている。

(注) 1 長期前受金：減価償却を行うべき固定資産の取得又は改良に充てるための補助金等の交付を受けた場合における、その交付を受けた金額に相当するもの

2 長期前受金戻入：償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等について負債に計上した長期前受金のうち、減価償却見合い分を収益化したもの

イ 収益的支出の予算執行状況

支出

(単位:千円・%)

区分	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率
水道事業費用	4,629,468	4,315,350	0	314,118	93.2
営業費用	4,484,275	4,191,062	0	293,213	93.5
営業外費用	119,843	118,591	0	1,252	99.0
特別損失	7,006	5,697	0	1,309	81.3
予備費	18,344	0	0	18,344	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 195,073 千円並びに消費税及び地方消費税納付額 32,429 千円を含む。

営業費用は、原水及び浄水費 15 億 274 万 2 千円（うち受水費^(注) 8 億 9,359 万 7 千円を含む。）や、減価償却費 14 億 8,789 万円 2 千円が大きなものとなっている。また、不用額については、退職給付費を含む人件費関係の経費、及び委託料や修繕費の執行残が主なものである。

営業外費用は、企業債に係る支払利息 8,258 万 6 千円が主なものとなっている。

(注) 受水費：本年度分の福岡県南広域水道企業団受水料金 893,204 千円（68 円×12,296,412 m³+9 円×6,338,638 m³=893,204 千円）に、大木町及び筑後市受水料金 393 千円を加えたものである。

(2) 資本的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

資本的収支（設備投資など、支出の効果が翌年度以降に及び、将来的な収益に対応することとなる取引などの収支）に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入の予算執行状況

収入

（単位：千円・％）

区 分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減	執行率
資本的収入	2,417,403	1,812,941	△ 604,462	75.0
企業債	1,400,000	800,000	△ 600,000	57.1
負担金	222,119	197,316	△ 24,803	88.8
加入金	111,068	119,998	8,930	108.0
補助金	184,000	178,732	△ 5,268	97.1
他会計への長期貸付金 返還金	500,000	500,000	0	100
固定資産売却代金	216	16,895	16,679	7,821.8

（備考） 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 11,702 千円を含む。

資本的収入は、企業債 8 億円や、他会計への長期貸付金返還金 5 億円及び負担金 1 億 9,731 万 6 千円が主なものである。

イ 資本的支出の予算執行状況

支出

（単位：千円・％）

区 分	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率
資本的支出	5,052,790	4,359,496	150,276	543,018	86.3
建設改良費	3,580,695	2,922,388	150,276	508,031	81.6
企業債償還金	952,095	937,094	0	15,001	98.4
補助金返還金	14	14	0	0	100.0
他会計への長期貸付金	500,000	500,000	0	0	100
予備費	19,986	0	0	19,986	0

（備考） 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 252,924 千円を含む。

資本的支出は、建設改良費のうち配水管布設や水道管改良などの工事請負費 26 億 9,846 万 3 千円や、企業債償還金 9 億 3,709 万 4 千円が主なものとなっている。

建設改良費の繰越額は、浄水場のアルカリ注入設備改修工事や水道管の布設・改良工事などを翌年度に繰り越したことによる。

ウ 資本的収支の不足額

本年度の資本的収支における不足額は、以下のとおりとなる。（補填状況については、「(3) 資本的収支不足額の補填状況」を参照）

$$\begin{array}{rcl} \text{資本的収入額} & & \text{資本的支出額} & & \text{資本的収支不足額} \\ 1,812,941 \text{ 千円} & - & 4,359,496 \text{ 千円} & = & \triangle 2,546,555 \text{ 千円} \end{array}$$

(3) 資本的収支不足額の補填状況

資本的収支不足額の補填状況は、次表のとおりである。

資本的収支不足額の補填額

(単位:千円)

区 分	補填額
消費税及び地方消費税資本的収支調整額〔当年度分〕	207,716
減債積立金	780,374
損益勘定留保資金〔過年度分〕	1,558,465
計	2,546,555

(備考)

- 1 消費税及び地方消費税資本的収支調整額：仮受消費税額等と仮払消費税額等の差額から特定収入見合消費税額を除いたものを、資本的収支予算の調整額として会計上別途内部留保するもの。
- 2 減債積立金：特定の目的のため議会の議決を経て積み立てた積立金の1つで、補填財源として使用できる。
- 3 損益勘定留保資金：実際の支出が行われずに帳簿上計上される費用の合計額。内部留保資金にできる。